

最優秀賞

ふれあい賞

マンシヨンは大家族

横須賀市立田戸小学校

五年 横田 一平

ぼくは祖父母と一緒にくらしていません。でも、「ぼくの家」には、たくさんのおじいさん、おばあさんが住んでいます。それは、なぜでしょう？

ぼくのマンシヨンのロビーにいつもすわっているおばあさんがいます。ぼくは、話すのがはずかしくて、下を向いてあいさつしか出来ませんでした。ある日、おばあさんが外に行こうとしていたので、ぼくは勇気を出して「雨が降ってきましたよー」と教えてあげました。おばあさんは「ありがとう。足が弱いから歩く練習をしに行くの。」とニッコリ笑いました。それからぼくは、うれしくなって、会うたびに話す様になりました。

野球帽をかぶった元気なおじいさん、ぼくは気になっていました。ぼくがグローブを持つ

てエレベーターに乗ると、「お！野球やるのか？」「はい！ベイスターズの大ファンなんです！」それからぼくとおじいさんは、友達になりました。

おじいさん、おばあさんは色々な事を知っていて話すと楽しいです。毎日いる人を見かけないと心配になります。みんなも、ぼくが学校を早退したり、ケガをすると「一平、どうした？」と心配してくれます。

ぼくの祖父母は、一緒に住んでいないけれど、マンションという大きな一つの家に沢山の仲良しおじいさん、おばあさんがいてぼくを大切にしてくれます。ぼくも、もつともつと大切にしたいです。

九月にマンションのお祭りがあります。ぼくも係をやる予定です。一生懸命がんばってみんなを笑顔にしたいです。この「大きな家族」が思いやり、助け合ってもつともつと仲良くなれたらうれしいです。